

# 第33回 神奈川W.Co連合会総会報告

新型コロナウイルス感染症は収束せず、感染拡大の波が繰り返されている中、連合会としては対策を講じながら、徐々に活動を活発化させてきました。今年度も総会はリアル参加・書面表決を選べるようにして開催しました。

(常務理事 小林麻利子)

日時 5月27日(金) 13:45~15:35  
場所 横浜情報文化センター

総会代議員数:128名中 出席:33名  
書面表決書:83枚 (成立必要代議員数:86名)

## 第1号議案 2021年度活動報告の承認

組織や事業性の困難を抱える W.Coが増える中、W.Coの継続と発展を第一優先課題として取り組み、会員 W.Coのリーダーと連合会、そして W.Co同士の関係性を強めるため、地域リーダー会議の主体性を活かす活動を進めた。

連合会を設立して 30年、会員 W.Coが連合会に求める役割や機能も変わってきたため、「組織・機能のあり方検討プロジェクト」を設置し、連合会のあり方について検討を進め、中間答申を提案した。

WNJ 全国会議を 2022年 2月に横浜でオンライン開催し、全国から多数の参加があった。

「労働者協同組合法」(ワーカーズ法)の施行に向けて、働く人の協同組合である W.Coの価値を再確認し、W.Coの認知を高めていく機会として内外に情報を伝えた。

これからの中間支援組織形成に向け、生活クラブ生協・(特非) W.Co協会・連合会(ワーカーズ法対応の連合組織準備会)と共に「神奈川・ワーカーズコレクティブ運動推進協議会」を設置し報告書をまとめた。

継続課題となっているメンバー募集活動を多様に行なった。第2期 W.Coという働き方を広げるキャンペーンを県内19か所で「地域で働く説明会」として開催。21名が W.Coに加入した。また、完全予約制で11/8に「わくわくワークフェスタ2021」を開催。Zoomを活用したオンラインによる説明会も初開催。

**質問** 連合会は中間支援組織となっているが、中間は何と何の間なのか?

**回答** 国や行政との間という意味と、いろいろな団体とコーディネートをしている意味もある。

**意見** 事業復活支援金の情報をもらい、申請した。申請には税理士による事前相談が必要で、連合会に問い合わせたところ、連合会の顧問税理士にお願いすることができ、専門家の必要性を実感した。

**回答** 今回、つなげることができてよかったです。連合会の機能が知られていない面があるので、活用を呼びかけ、引き続き事業・組織運営に活かせる情報収集を進め、発信していく。

**意見** 連合会には各 W.Coの支援を強めて欲しい。

賛成:116票・反対:0票

## 第2号議案 2021年度決算報告の承認

### ▶会員会費事業

#### 収益の部

「会員会費収益」は執行率91.9%。会費のうち人数比例分1,897,400円を返還。「講座収益」は計画より参加が少なかつたことが要因で執行率57.0%だったが「学習会」は部門会議を中心に活発に開催され、昨年度の4倍、執行率93.8%。「書籍収益」は、執行率213.4%。運動グループを中心に連合会30周年・協会15周年の記念誌等の購入が要因。

#### 費用の部

理事会主催で SDGs学習会を行い、講師謝礼の執行率が133.6%。「ウイルス対策ソフト費」はソフトの更新と、パソコン台数増加のため、費用も増加。「備品費」「その他」は、オンライン併用の会議が増えパソコン2台の購入費用。

### ▶W.Co基金

基金委員会からの寄付依頼の手紙送付などの働きかけにより、寄付額約108万円。(予算比108%)

**質問・意見なし**

賛成:116票・反対:0票

## 第3号議案 2021年度会員会費事業及びW.Co基金剰余金処分案の承認と監査報告

会員会費事業の次期繰越金は、14,171,908円

W.Co基金の次期繰越金は、2,506,024円

**質問・意見なし**

賛成:116票・反対:0票

## 第4号議案 2022年度活動方針の決定

### ▶基本方針

格差・貧困が広がる今が地域を変えていくチャンスととらえ、生活クラブ生協を始めさまざまな団体と連携し、「協同労働」の価値を発信し、W.Coの社会化を推し進める。また、「労働者協同組合」の法人格を取得する団体を支援する。「神奈川・ワーカーズコレクティブ運動推進協議会」でまとめた「W.Coを真ん中におく地域社会づくり」の共有ビジョン実現に向け新たな中間支援組織創出の具体的な検討を進めると共に「組織・機能のあり方検討プロジェクト」を継続。

**質問** 連合会として、今後オルタケアオンラインをどのように進めていくと考えているか?介護業界もICT化に伴い、このままケアオンラインを継続してよいのか、情報がなく困っている。

**回答** 理事会の基にある介護保険制度検討チームを強化し、ワーキングチームを設置して、介護の業種ごとに調査やヒアリングを進めている。オルタケアオンラインを継続するかは、生活クラブにも提案し、連携しながら考えていく。

賛成:116票・反対:0票

## 第5号議案 定款の一部改定

連合会の運営・責任体制を強化していくことが必須のため、定款第5章 第27条の副理事長の定員を1名から3名とする。に改定。

**質問・意見なし**

賛成:116票・反対:0票

## 第6号議案 2022年度予算の決定

### ▶会員会費事業

#### 収益の部

2021年度の各 W.Coの新型コロナウイルス感染症による事業への影響を鑑み、2021年度実績より36万円ほど少くなる予算立て。「業務受託収益」のうち「共済業務受託」は、今年度6月から8%に減額

#### 費用の部

「旅費交通費」「部門会議活動費」「地域 W.Coリーダー会議」の交通費は、オンラインでの参加も定着したため、それを考慮した予算立て。「部門会議活動費」に「学習会費用」を1部門 2万円を自安に予算化。「顧問料」は、今年度5月から社会保険労務士との顧問契約で、24万円ほど増額。

**質問** 36万ほど少ない予算には思えないのと、定款の変更で副理事長を増やすようにしたが、会費との兼ね合いで人数は考慮していくのか。

**回答** 36万円は、人数比例分を返却しなかった場合の金額に対して、副理事長の人数も含めて、人事は課題と収入に合わせて考えていく。

**質問** 繰越金が多いが、今後活用について検討していくのか?

**回答** 「ワーカーズ法対応の連合会」にはワーカーズ法の法人しか加入できないなど、新たな中間支援組織を作るとときには連合会のあり方が大きく変わるので、今後は事務所移転などもあり得る。繰越金の活用については検討していくことになる。

賛成:116票・反対:0票

## 第7号議案 役員選挙

賛成110票・反対 1票

理事…継続12名、新任6名 監事…継続2名、新任2名(福祉クラブ枠含む)が承認されました。新役員はうえい7月号で紹介します。

### お知らせ | 退任役員

理事 小島さり子・城戸裕子・島田文子・吉川礼子  
山内女久美・高橋静子・瀬下章子・菊地和美  
監事 白尾有紀・三和和子(福祉クラブ枠)

